



※ジャケット写真はBD-R 盤です

- 企画・制作・発売元 テラプロジェクト
- 協力 西日本旅客鉄道株式会社  
株式会社JR西日本コミュニケーションズ
- JR西日本商品化許諾済

前方展望  
シリーズ

# 113系 草津線

草津-柘植 / 柘植-草津



● RB-252527R / 96 分 3,000 円 (税込)

(BD 盤は BD-R での販売です)



● TEBJ-38062 / 96 分 4,180 円 (税込)

■ 撮影日 / 2012 年 8 月 24 日 曇時々晴

■ 撮影列車 / 区間 5340M 草津 (10:57 発) ⇒ 柘植 (11:39 着) 外 111-5715  
5355M 柘植 (12:01 発) ⇒ 草津 (12:45 着) 外 111-5765

## ■ 本編の概要 ■

草津を発車し、大きく右にカーブして東海道本線と離れていく。ほどなく東海道新幹線が頭上をクロスしていくが、この辺りに新幹線の新駅建設計画もあったが中止された。名神高速道路をくぐり、石部では湘南色の 113 系とすれ違う。甲西の先では天井川をトンネルで抜け、三雲からは山裾に沿って走り、仙川を渡ると左から近江鉄道が接近し、JR 西日本色の 113 系が待つ貴生川に到着する。この展望撮影をしている電車が緑単色なので、この日の草津線は 3 色の 113 系が走っている。貴生川を出ると、田園地帯を走る区間が多いが、駅周辺は住宅地も広がる。寺庄を過ぎると、新名神高速道路が横切って行くが、今や草津線は競合相手として太刀打ちできない。滋賀県最後の駅、油日を発車し、雑木林の中で県境を越えてしばらく走ると、右からカーブして関西本線が現れ、柘植に到着する。

## ◆ 展望本編の主なキャプチャ画像 ◆

※本作の映像は 2012 年に収録しています。収録の映像や解説、駅名等につきましては、当時のものですので、あらかじめご承知ください。

《往路展望》



草津を発車。しばらく東海道本線と並走する。柘植方面行きが上り列車になる。



京都方面から草津線へ直通する列車は、左の高架線を走り合流する。(草津～手原)



左に近江富士 (三上山) が見える。この辺りに新幹線の新駅建設が計画されていた。



石部では交換待ちでしばしの停車。湘南色の 113 系がやってきた。



天井川の下を大砂川トンネルで抜ける。草津線で唯一のトンネルだ。(甲西～三雲)



仙川を渡ると、左から近江鉄道が接近し、貴生川に到着する。(三雲～貴生川)



規模は小さいながら、貴生川は近江鉄道と信楽高原鉄道とが接続するターミナル駅だ。



使用停止中だが、信楽高原鉄道への連絡線がある。 ※現在は撤去されている



頭上を新名神高速道路が横切る。もはや草津線は競合相手にもされてない… (寺庄～甲賀)



のどかな田園地帯に、心地よいジョイント音を響かせて快走する。(甲賀～油日)



滋賀と三重との県境付近を走る。草津線の駅は全て滋賀県内にある。(油日～柘植) ※柘植は関西本線に所属



終点の柘植に到着。駅舎側のホームにはレンガ積みのランプ小屋が残る。

《復路展望》



再び草津に向かって発車。加茂方面への関西本線は、すぐに左へカーブして離れていく。



貴生川の信楽高原鉄道のりばには、開業 25 周年記念のラッピング車両が停車中。



天候次第では対岸の比叡山が望めるのだが、この日は雲がかかり残念… (石部～手原)



草津に到着。のどかな草津線内の景色とは一転し都会的な空気感がただよう。

※キャプチャ画像は、お手持ちのパソコンやテレビ等の環境により、実際の映像より色味が違って見える場合がございます。

■ 前方展望 (R) シリーズは、テラプロジェクトの登録商標です。

パンフレット作成 2025 年 12 月

**Terapro@Direct**